

質問書に対する回答

(件名) 長野自動車道 一本松トンネル補強工事

No.	質問事項	回答	
1	別添1 技術提案における施工条件書（3/7） 作業日及び交通規制抑制期間	「※冬季期間はインバート補強工に関する規制は認めない。また、同期間に日々規制を実施した場合、実施日数は求める規制日数削減対象となる日数に含めない。日々規制での作業は、支障物移転・復旧等を想定している。なお、日々規制は速度規制（50km規制）が行われているときは規制を行ってはならない。」とありますが、インバート補強工及び支障物移転・復旧等以外の作業を実施することは可能でしょうか。ご教示願います。	別添1 技術提案における施工条件書（3/7）「作業日及び交通規制抑制期間」に示すとおりです。 冬季期間の日々規制における工事は、緊急時に作業の中止が可能な支障物移転・復旧作業を実施することを想定しています（緊急時：冬季除雪作業等）。
2	別添1 技術提案における施工条件書（5/7） 構造物取壊し—コンクリート・アスファルト舗装	「既設舗装面の（一部）撤去を要しない工法（非開削工法等）の提案は可能とする。ただし、工事完了時の舗装面は、設計図書に示す舗装構成にすること。」とありますが、非開削部（中央部）の工事完了時の舗装面は、「オーバーレイ工B（t=4cm）アスファルトコンクリート 表層工」のみでもよろしいでしょうか。ご教示願います。	工事完了時の舗装構成は、別添1 技術提案における施工条件書（5/7）「構造物取壊し コンクリート・アスファルト舗装」に示すとおりです。
3	別添1 技術提案における施工条件書（5/7） インバート本体一仕様・形状	「函体を用いた構造の部材間の連結条件を以下に定める。」 【周方向】 ずれ止めを目的としてプレート及びボルト等の連結金具で連結すること。また、部材間の隙間には所定の強度を有した材料で充填を行い掘削底面を完全に覆うこと。 【軸方向】 プレート及びボルト等の連結金具で連結し、隣接する部材間の段差は3cm以内とする。また、部材間の隙間には所定の強度を有した材料で充填を行い掘削底面を完全に覆うこと。」とありますが、所定の強度とは $\sigma_{ck}=24N/mm^2$ でよろしいでしょうか。ご教示願います。	別添1 技術提案における施工条件書（6/7）施工条件 インバート本体 仕様・形状に示すとおりです。所定の強度「 $\sigma_{ck}=24N/mm^2$ 以上」としてください。
4	入札説明書 第5入札前 価格交渉方式	5-1. 入札前価格交渉方式の概要（2）に基づきご提出します当初見積書の内容は、技術提案の施工計画を反映させた見積内容でよろしいでしょうか。ご教示願います。	工期短縮費用など「インバート施工に伴う車線規制の短縮に関する技術提案」に係る費用は、入札前価格交渉の見積書に計上してください。